

！誤飲に注意！

この円の中を通る物は、こどもの口の中に入ります。(直径39mm)この円より小さい物はこどもの手の届かないところに置きましょう！



“こども家族支援チーム”について

藤沢市民病院には、こどもが安全に暮らせるようにサポートをする“こども家族支援チーム”があります。チームメンバーは医師・看護師・ソーシャルワーカーで、こどもの事故に対して再発防止策と一緒に考えます。また、こどもの発達段階に合わせ、想定される事故の種類についても一緒に考え、必要に応じて地域の保健師等とも連携をとっています。

子育てする中での悩みや心配事の相談もお受けしていますので、どうぞお気軽にご相談ください。

藤沢市民病院 こども家族支援チーム
相談窓口：東館1階 患者総合支援センター



ふじキュン

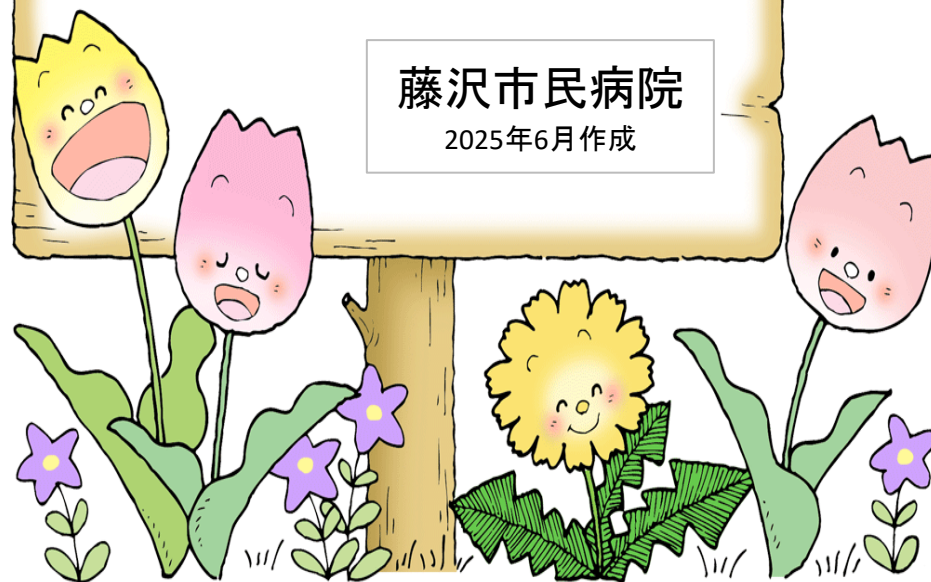
TEL0466-25-3111(代表)
祝祭日除く 月曜日～金曜日
午前9時～午後5時

こどもを事故から守りたい ～事故防止パンフレット～

このパンフレットは、藤沢市民病院を受診されたお子さんの状況をふまえ、こどもに予期せず起こりやすい事故と対処のポイントをまとめたものです。周囲にいる大人たちが、こどもの身の回りの環境にちょっとした注意を払い、対策を立てることで、防げる事故があります。明るい子育てと毎日の生活のために、みんなでこどもを事故から守りましょう。

藤沢市民病院

2025年6月作成



こどもの発達に関連した起こりやすい事故

～こどもの安全を守りたい～

電気ケトル、ポット、炊飯器、お鍋でのやけど

0歳～2歳くらい

<注意ポイント>

1. 電気ケトル、お鍋などはつかまり立ちしたり、コードを引っ張ったりして倒してしまい、熱湯を浴びてやけどをすることがあります。
2. 電気ケトル、ポットはお湯が出ないように必ずロックしこどもの手の届かない場所に置きましょう。



浴室へ転落し溺れる 入浴時に大人が目を離し溺れる

0歳～2歳くらい

<注意ポイント>

1. こどもが浴室に入ってしまう、浴槽をのぞき込み転倒し、溺れることがあります。
2. 入浴後は、浴槽の水を抜き、浴室には外鍵をつけこどもが入れないようにしましょう。
3. 大人が洗髪している時や、着替えを取りに行ったり電話に出たりしている時など目を離した間に溺れてしまうことがあります。



おもちゃ、1円玉など小さなもので窒息

0歳～3歳くらい

<注意ポイント>

1. おもちゃの小さな部品やスーパーボール、1円玉などの小さなものは届かないところに保管し、遊ぶときは口に入れないように注意しましょう。
2. おもちゃの購入時や利用時は、商品の対象年齢に注意しましょう。



医薬品、洗剤、化粧品などの誤飲

0歳～3歳くらい

<注意ポイント>

1. 医薬品や洗剤などの誤飲は重大な症状を引き起こすおそれがあります。
2. 医薬品、食品と見た目が似ている洗剤や化粧品、入浴剤などはこどもの目にふれない場所や手の届かない場所に保管しましょう。



歯磨き中に歯ブラシでの喉付きなどの事故

1歳～3歳くらい

<注意ポイント>

1. 歯磨き中は、保護者がそばで見守り、歯ブラシをくわえたまま歩き回ったりせず、床に座らせて歯磨きをしましょう。
2. 箸やフォークなど、喉付きの危険性がある日用品も口に入れたまま歩いたり、走ったりさせないようにしましょう。



海や川での事故

2歳以上

<注意ポイント>

1. こどもだけで海や川などで遊ぶことがないように注意しましょう。
2. 転倒したり、溺れたりする危険がある場所がないか確認し、危険な場所でこどもが遊ばないように注意しましょう。



チャイルドシート未使用による事故

0歳～6歳くらい

<注意ポイント>

1. こどもを抱きかかえたまま乗ると、衝突や急停車時に支えきれずにこどもが腕から飛び出し危険です。
2. 短時間の乗車であっても、6歳になるまでは必ずチャイルドシートを使用しましょう。



洗濯機での事故

2歳～6歳くらい

<注意ポイント>

1. ドラム式洗濯機にこどもが入り、窒息する事故が起きています。
2. ドラム式洗濯機は、未使用でも、蓋は必ず閉めてチャイルドロック機能を利用しましょう。
3. 洗濯機の上にこどもをのせると転落の危険があります。のせないようにしましょう。



こどもの周囲の大人達が、こどもの身の回りの環境にちょっとした注意を払い、対策を立てることで防げる事故があります。
みんなでこども達の安全を守っていきましょう。

消費者庁「子どもを事故から守る！！事故防止ハンドブック」一部引用